

事業計画の特徴

- 市有施設及び民間施設に、**HPA**（Heat Purchase Agreementの略。設置・保有・維持管理を熱供給事業者が行い、需要家である施設の管理者は使用した熱量に基づく熱代金を負担する、いわば**熱版のPPAといえるスキーム**）で**木質バイオマスボイラを導入**する。このHPAモデルにより、**熱需要家は初期投資を要さずに木質バイオマスボイラを導入することが可能**となる。
- ソーラーシェアリング設備の運営を**喜多方市内の営農法人が実施することで、ソーラーシェアリング運営のノウハウを蓄積**する。

事業計画の概要（民間） 再エネ：3,900kW

取組（個人）	規模
太陽光発電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> 150件 900kW
蓄電池の導入	<ul style="list-style-type: none"> 50件 500kWh
取組（事業者）	規模
太陽光発電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> 30件 1,500kW
ソーラーシェアリングを活用した太陽光発電設備の導入（オフサイトPPA）	<ul style="list-style-type: none"> 30件 1,500kW
バイオマス熱利用設備の導入（HPA）	<ul style="list-style-type: none"> 2件、2基

事業計画の概要（公共） 再エネ：366kW

取組	規模
庁舎・小学校等への太陽光発電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> 12件 366kW
庁舎・体育館等への高効率照明機器の導入	延べ15施設

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	総事業費	交付金額	計画期間
4,266kW	63,207 t-CO2	10.7億円	4.3億円	令和5年度 ～ 令和9年度

取組のイメージ

